

京都市動物園

小さかったころ以来、動物園に行かなくなった人も多いと思います。そんな人もこの記事を読んで、動物園に足を運んでみてはいかがでしょうか？ (陸)

動物たちを、身近で感じる

東山二条から東に数百メートル。京大から自転車で10分ほどのところに京都市動物園はあります。京都市動物園は明治36年に開園した、上野動物園に次いで全国で2番目に歴史のある動物園で、規模は今も当初とあまり変わっていません。また、近くには平安神宮、京都会館、京都市美術館、南禅寺などがあり、京都の観光スポットの真っただ中に位置しています。そのため、他の動物園とは違った雰囲気を醸し出しています。



▶動物園の入り口の写真を撮っています。

動物園の入り口を抜けると、敷地の狭さを感じさせないほど多くの動物たちが、私たちを迎えてくれます。京都市動物園では、キリンやゾウといった定番の動物だけでなく、テレビでよく見るペンギンやレッサーパンダ、さらにはサルやゴリラといった霊長類も飼育しています。

しかも、ただ動物を見せるだけでなく、飼育環境に独自のアイデアを盛り込むことで、動物が快適に過ごせてかつ人が楽しめる環境を形成しているのもこの動物園の特長です。

実は京都市動物園は京大とは深いつながりがあります。今年4月に発足した「野生動物研究センター」(WRC)と、野生動物の保全と共生に向けた取り組みを目的に連携しています。WRCの専任教員の田中准教授が常駐し、霊長類を中心にさまざまな動物の研究を行っています。

園内では親子連れから老夫婦まで、さまざまな年代の人たちが動物とふれあひながらのどかな時を過ごしています。みなさんも動物園でこのようなひとときを過ごしてみたいでしょうか？



▶動物園といたらやっぱりゾウ！ 迫力がありません。



▶京都の暑い夏の中でも元氣なペンギン。いつも活発に歩き回っています。

飼育課企画係長の坂本さんにお話を伺いました

——京都市動物園の魅力はどこですか？

動物たちを近くで見ただけのところだと思います。建物は古いですが、飼育担当の人たちがそれぞれ工夫をして動物たちが快適に過ごせたり、お客様が楽しめたりするようにしています。

特にこの動物園では、動物たちに親しみをもちやすくするために、動物たちを種としてではなく個体として見ていただけるように工夫しています。そのため、大体の哺乳動物には名前がついており、約40頭いるアカゲザルもすべて名前がついています。



▶約40頭いるアカゲザル。飼育員さんは全部見分けがつかうそうです。

——おすすめの動物を教えてください。

この動物園の動物それぞれがおすすめです。

——最後に、京大生に一言お願いします。

京都市動物園と京大は昔から深い関係があり、これからも仲良くしていく間柄だと思いますので、ぜひ気軽に遊びに来てください。

——ありがとうございました。

つらら ~サルの身体測定~

動物園ではサルも身体測定を行います。そのためにサルを捕まえないといけません。それに使われるのはなんと虫取り網！ ものすごく大変そうな気がします。

information

営業時間 9:00~17:00 (12~2月は16:30まで、入園できるのは閉園の30分前まで)

定休日 毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合はその翌日)、年末年始

料金 大人500円、年間入園券2000円



市バス ・5、32、100系統「動物園前」下車すぐ
・31、201、202、203、206系統
「東山二条」下車東へ徒歩5分